



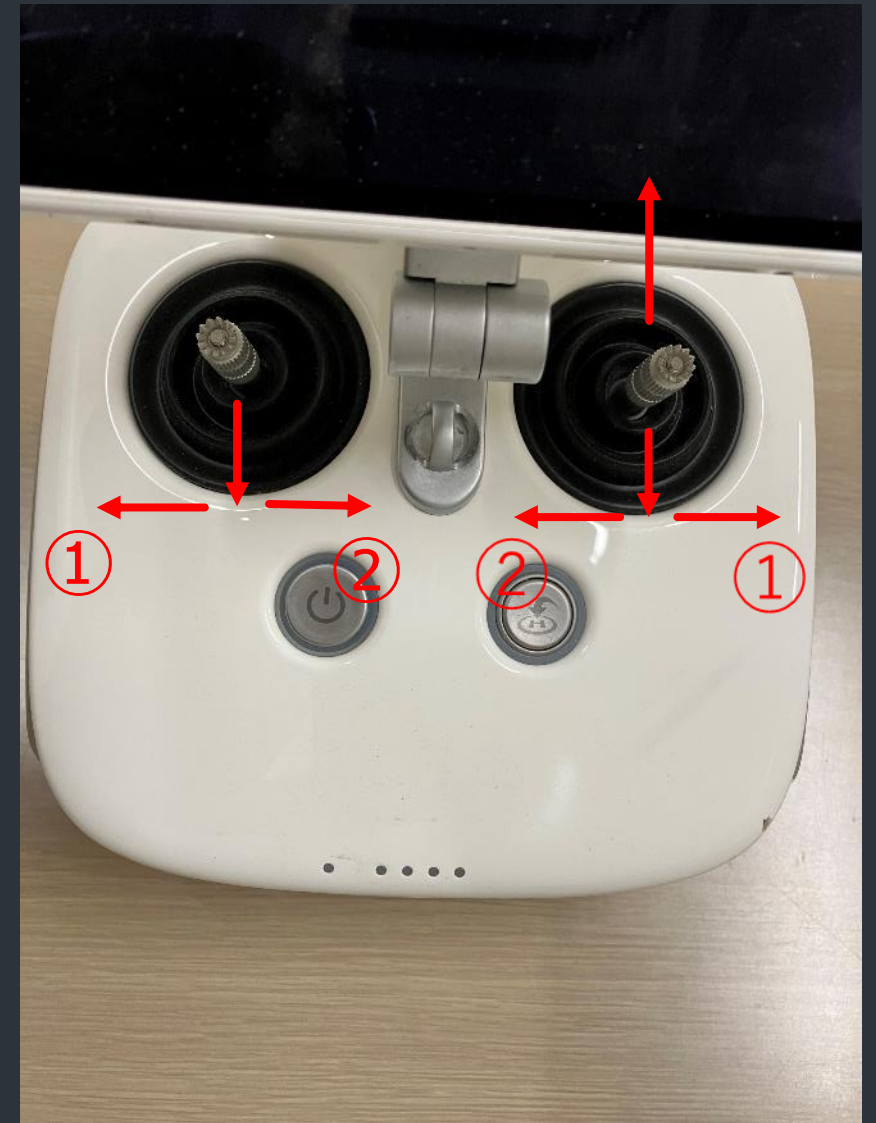
# MG-1マニュアル (散布～散布後)

イノチオプラントケア株式会社

# 1.離陸する

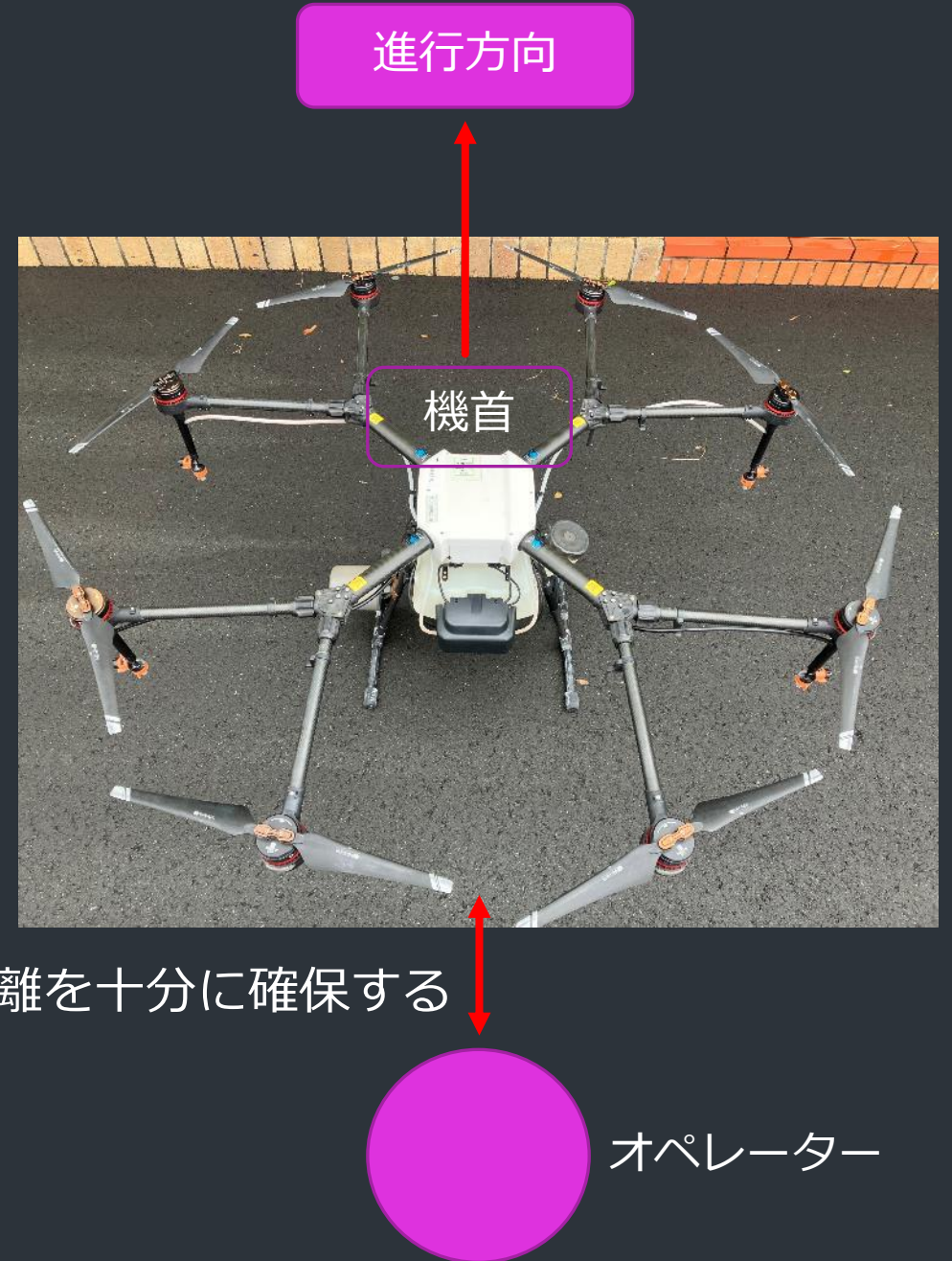
モーターを始動させるには、八の字（外側①）または逆八の字（内側②）に両スティックを倒す。（下に倒して、そのまま横に倒す）

モーターが回転し始めたら、一度スティックを戻し、その後右スティックを上により倒し、機体を上昇させる。



# 1.離陸する

- ▶機体を上昇させ、散布のスタート位置まで機体を移動させる。
- ▶機首が進行方向をまっすぐ向くように調節する。
- ▶オペレーターは常に機体の後ろ側にいること。



## 2. 散布開始

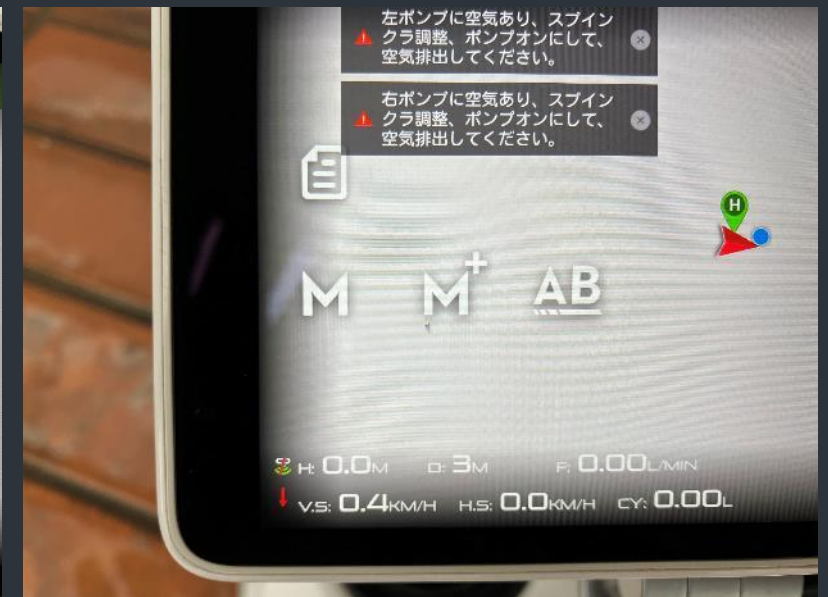
- ▶ **マニュアル(M)** : 噴霧量、飛行速度、作物からの高さなどをダイヤル、スティックで調節して散布するモード。機体の制御をオペレーターが行うため、操作技術を要する。
- ▶ **マニュアルプラス(M+)** : 噴霧量、飛行速度、作物からの高さ、散布幅を自動で制御するモード。機首がロックされるため、マニュアルと比べ操作技術に左右されず安定した散布ができる。

## 2.散布開始

- ➡ **A-Bルート**：A・B点を定め線で結び、その線に対して平行に移動しながら自動散布するモード。機体の制御をすべて自動で行うため、オペレーターの作業は主にA・B点の指定、バッテリーや薬剤の補充のみ。形が整っている大きな圃場では特に有効。



「M」からモード  
選択可能

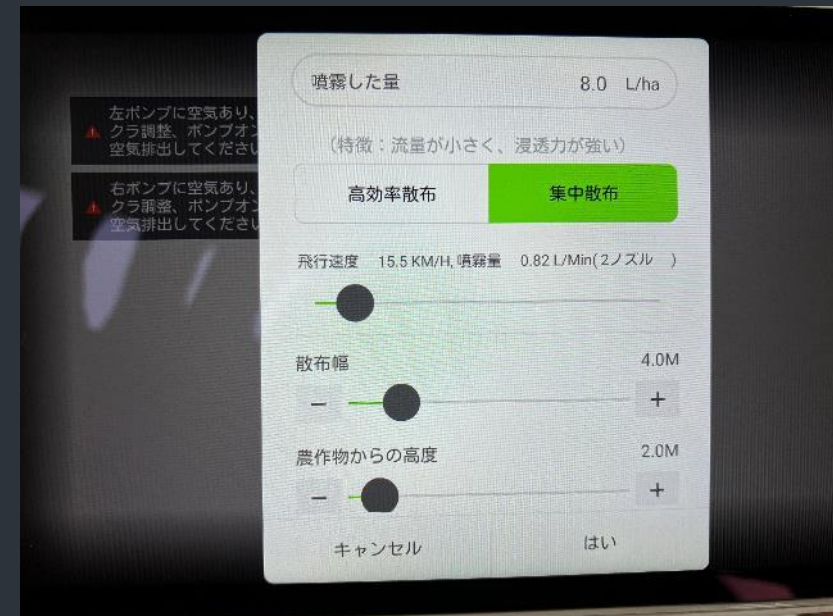
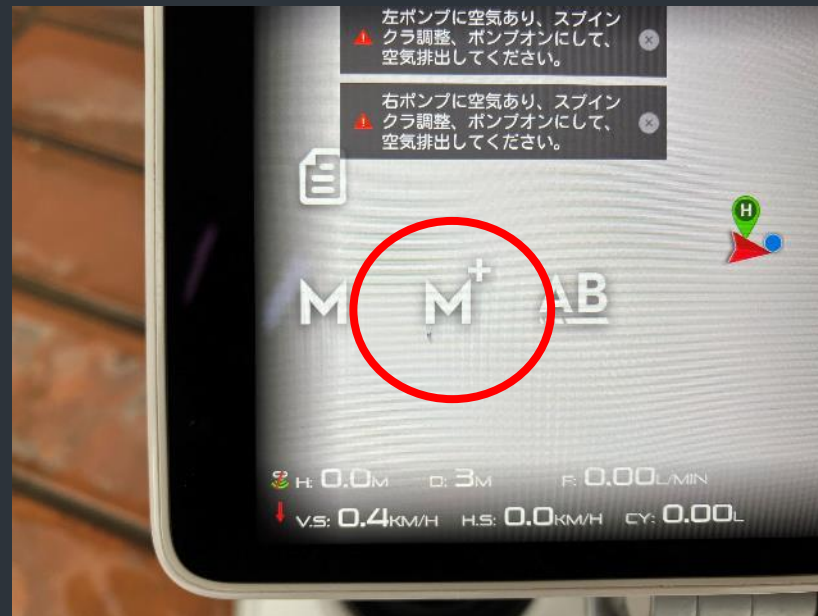




## 3.M+モード

- ▶ 「M+」をタップ
- ▶ 設定画面からhaあたり噴霧量、飛行速度、散布幅、飛行高度の設定を行う（「集中散布」を選択）
- ▶ 下部の「はい」をタップ

※ 「はい」をタップした時点で制御が始まるため、機体位置と機首方向は事前に合わせておく



## 3.M+モード

### M+のポイント

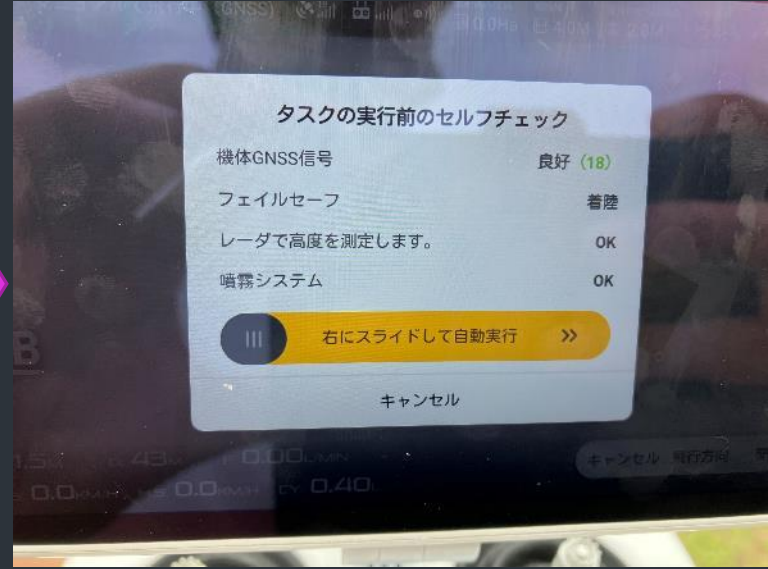
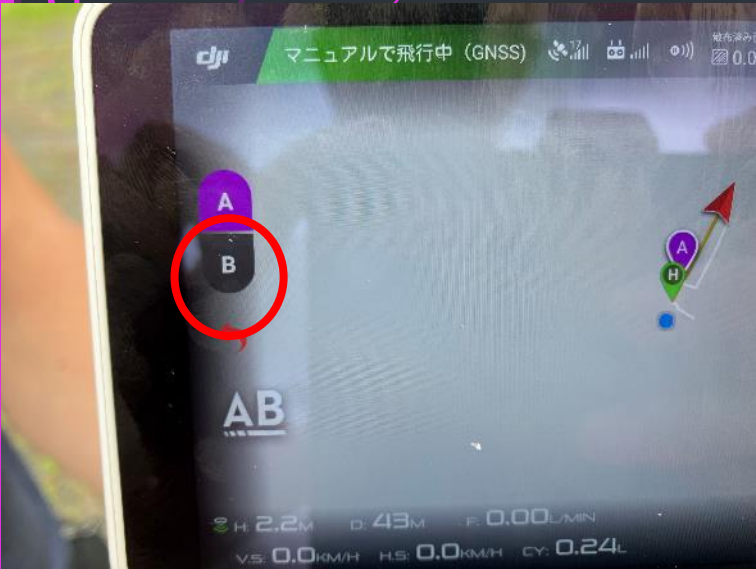
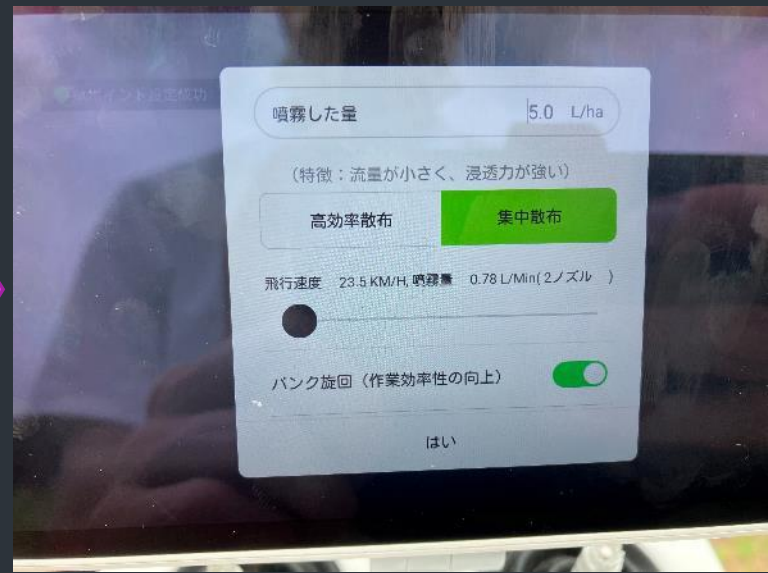
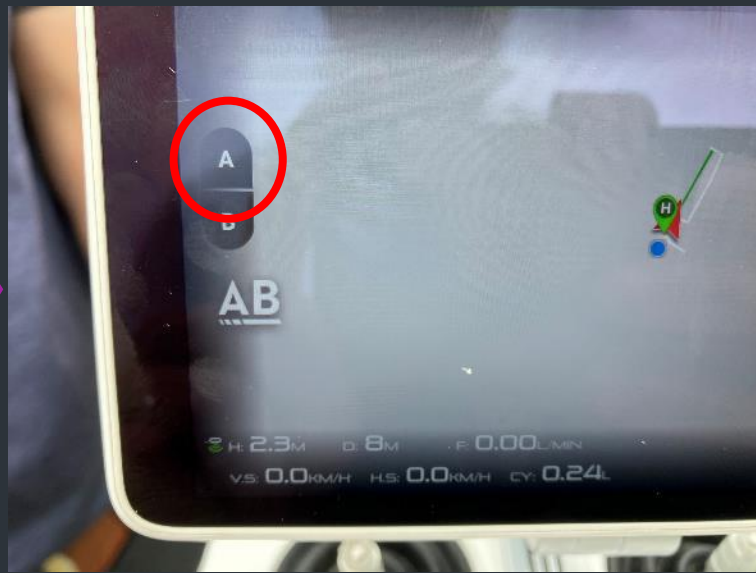
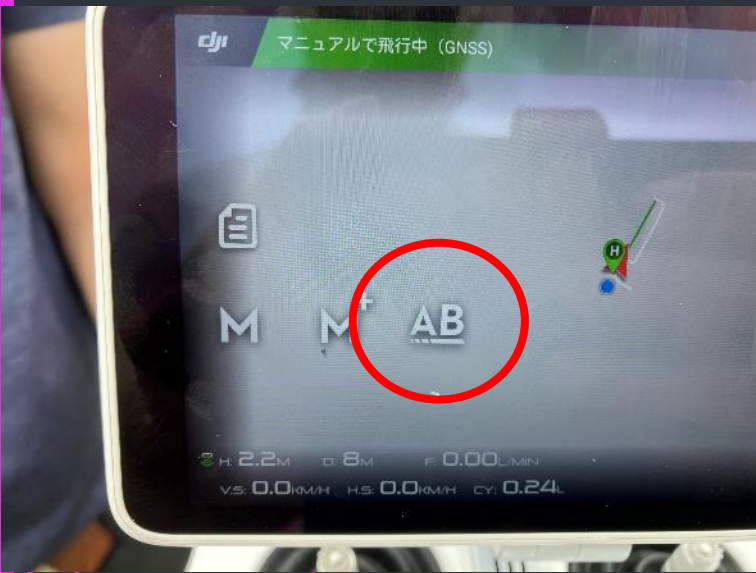
- ▶前方・後方に加速する時に自動的に噴霧し、減速すると噴霧が止まるため、散布ボタンを押さなくてよい(粒剤散布の場合は一度だけ押す必要あり)
- ▶前進・後進時はスティックを倒しきる
- ▶横移動を好きなボタンに割当可能(プロポ設定→カスタムボタン)
- ▶横方向には障害物レーダーが反応しないため、機体周辺の状態を常に確認する
- ▶機首はロックされるが、スティックでの横移動は可能なため、機体の進路を自分で調節できる

## 4.A-Bポイントモード

- ▶ 「AB」をタップ
- ▶ 散布開始位置に機体を合わせ「A」をタップして登録
- ▶ 噴霧量、飛行速度、バンク旋回の有無など散布の設定を行う
- ▶ 散布停止位置に機体を移動させ「B」をタップして登録
- ▶ 「飛行方向」→「飛行方向変更」をタップして移動方向を確認する
- ▶ 「開始」をタップしてセルフチェックに移行し、エラーがなければスライドして作業開始

※バンク旋回：方向転換の際、滑らかな軌道で旋回する



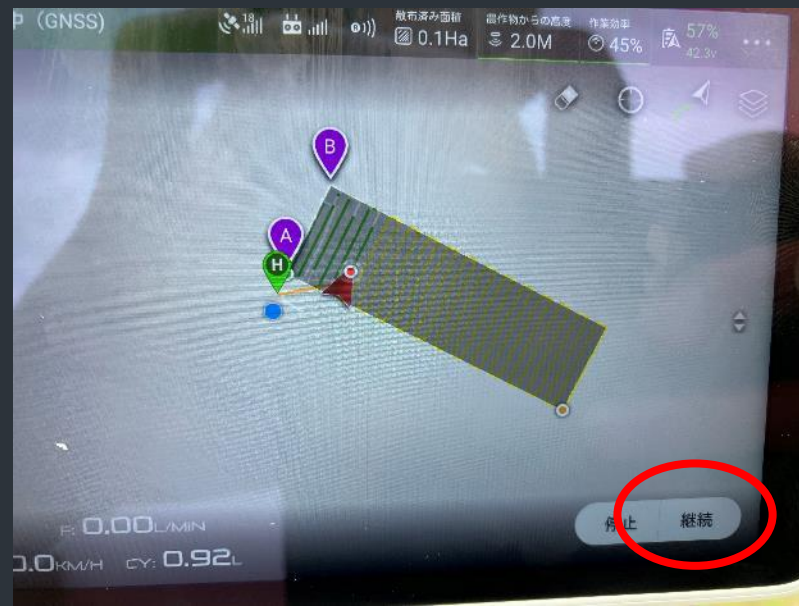


## 4.A-Bポイントモード

バッテリー切れ、薬剤切れの際は一時中断してその位置を記録する。補充後に「継続」→「はい」をタップすると中断地点まで戻り、自動航行を再開する。**※補充中に送信機の電源を切らないこと**

機体を前後左右に動かすことでも一時中断できる。

ABモードを終了する場合は一時中断して「停止」をタップする。



## 4.A-Bポイントモード

### ABルートのポイント

- ▶Aポイント設定後、Bポイントを設定するまではマニュアルモードのため手動で散布しながらBポイントに向かう
- ▶スタート後は手動操作で止めるか、障害物検知、バッテリー切れ、薬剤切れで一時中断する。それ以外では止まらないため機体から目を離さない
- ▶横方向は障害物レーダーが反応しないため、機体周辺の状態を常に確認する
- ▶ABルートが圃場に対して斜めになっている場合、ずれが徐々に大きくなっていくので最初のポイント設定を慎重に行う(修正したい場合は再設定)



## 5. 散布終了後

- ▶ タンクの中に残った薬剤を排出し、タンク内部、注入口と排出口のフィルターを流水とブラシで洗浄する。排出した薬剤は容器で受けて適切に処理する。
- ▶ 排出口を閉めてタンクに真水を入れ、吐出を開始する。ポンプとホース内の薬剤を排出する。
- ▶ ノズル、圧力弁を外し、構成部品を流水とブラシで洗浄する。
- ▶ 固く絞った雑巾でプロペラ、ボディに付着した薬剤を拭く。プロペラの裏側にも付着しているので、しっかり両面拭く。

※機体に直接水をかけないこと



タンクフィルター  
(注入口)

タンクフィルター  
(排出口)



ノズル

圧力弁



## 6. バッテリー取扱い

- ▶ 炎天下直射日光のもとにさらさず、風通しのよい日陰や冷房の効いた車内に置くようにする。
- ▶ 使用後は高温になるため、しばらく冷ましてから充電を行う。
- ▶ 散布終了後は満充電にし、日の当たらない涼しい場所で保管する。付着した農薬は拭きとる。
- ▶ 冬など散布しない時期については、暖房が効き室温が氷点下を下回らない家の中に置いて保管する。1~3か月に一度満充電にするのが望ましい。
- ▶ セルバランスの異常がみられるバッテリーについては使用せず、販売店へ連絡する。